



薄膜偏光板、45°

TFPNシリーズの薄膜偏光板は、高いレーザー損傷しきい値と90°の反射角の双方が必要な場合に理想的な製品です。56°の入射角で使用するプリュースターアングル偏光板とは異なり、TFPNシリーズのプレートポラライザーは45°で使用します。従って、キューブ型の偏光子と同様に反射および透過ビームが90°に分岐され、その各々は直交する偏光方向を有します。これは、偏光ビームスプリッターまたはビームコンバイナーのいずれかとしての使用に理想的です。さらに、TFPNシリーズの薄膜偏光板は、性能を最大限にするための角度調整の必要がありません。硬質の誘電体コーティングにより耐久性と密度が高く、クリーニングが容易であり、アライメントが簡単で、ほとんどの薄膜偏光板に付き物である波長シフトに対する影響を受けにくい特性を持ちます。

TFPNシリーズ プレートポラライザーは、その他に高い消光比を持ち、透過波面収差が小さく、p-偏光ビームの透過効率が高いという特長を有しています。他のポラライザーと比べた場合、補正用光学素子が少なく済み、システムのコストダウンを図ることができます。

TFPN 偏光板は、エネルギーの高いNd:YAGレーザーやファイバーレーザーシステムに用いられるレーザーラインキューブポラライザーに代わって使用することができます。この製品は波長板と組み合わせることにより損傷しきい値の高い可変アッテネータや光アイソレータを形成することができ、また単独では内部キャビティQスイッチの偏光子として使用することができます。

高エネルギーレーザーライン偏光板

反射および透過ビームを90°で分岐

角度調整機構が必要無い

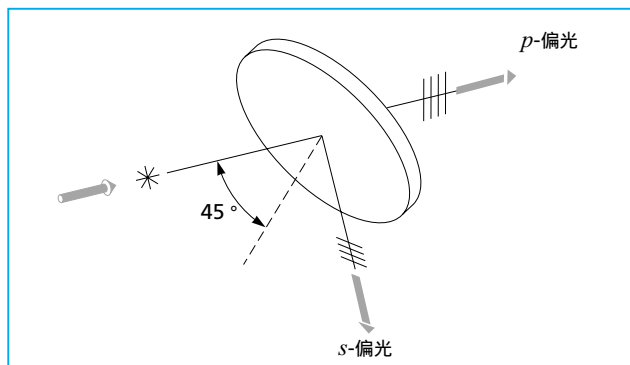
アライメント、取扱い、およびマウントが容易

プリュースタープレートポラライザーよりも有効径が大きい

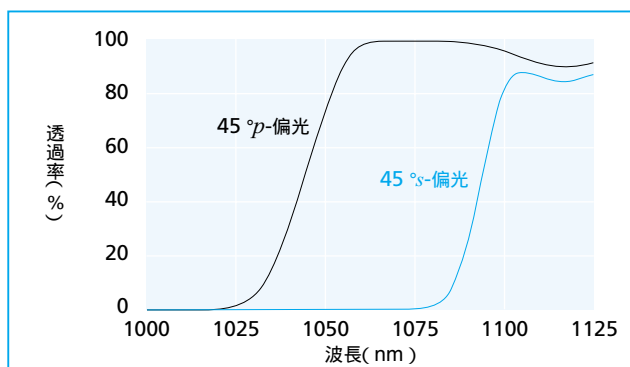
ミラーマウントを別売にてご用意

RoHS対応

他の波長、サイズにも対応可能



TFPN 45° 薄膜偏光板



TFPN シリーズ1064 nm用 薄膜偏光板の波長対透過率の特性

仕様：薄膜偏光板、45°

光学材質	UV グレード フューズドシリカ
直径の公差	+0/- 0.25 mm
厚みの公差	$t \pm 0.25$ mm
表面品位	10-5 スクラッチ&ディグ
平行度	5 分
面取り	0.35 mm、45°標準
透過波面エラー	/8 (@633 nm)
透過効率	$T_p > 97\%$ (= 1064 nm) $T_p > 96\%$ (= 532 nm)
T_p/T_s	500:1
有効径	直径中心の 85 %
損傷しきい値	
パルス	10 J/cm ² 、20 nsec、20 Hz (@1064 nm)
CW	1 MW/cm ² (@1064 nm)
入射角度	45°

薄膜偏光板、45°

厚み (mm)	厚み t (mm)	波長 (nm)	製品番号
25.4	6.4	532	TFPN-532-PW-1025-UV
25.4	6.4	1064	TFPN-1064-PW-1025-UV